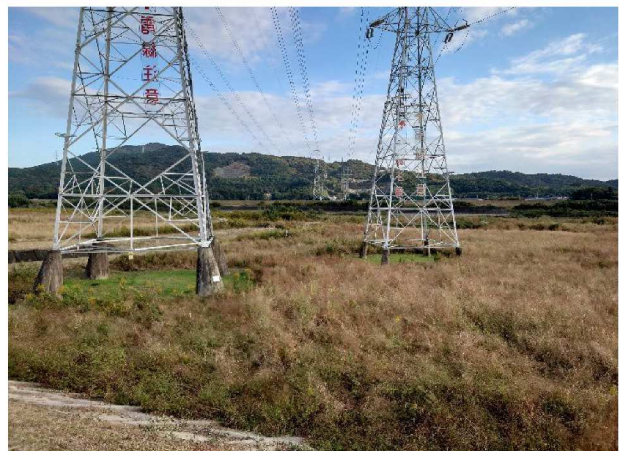
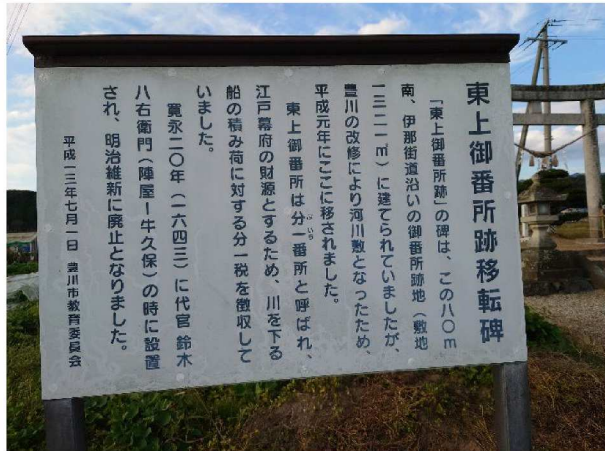


|     |             |        |                    |
|-----|-------------|--------|--------------------|
| 10月 | 豊川 愛護モニター報告 | モニター区間 | 豊川: 左右岸<br>当古橋～新城橋 |
|     |             |        | 管轄出張所: 一宮出張所       |
| 実施日 | 令和3年10月31日  | 実施区間   | 江島橋・三上橋周辺          |



明日からは11月、穏やかな散歩日和で、いつもの散歩コースを歩きました。この看板は、江戸時代江島に御番所があった事を説明しています。伊奈街道と豊川が接近した、番所に適した場所だったのでしょう。御番所は、豊川の水運品物から通過税を徴収していたそうです。海運と陸路の交差点として、ずいぶん賑わった場所だったと思います。ただ、実際の御番所は右の写真の鉄塔下辺りから河川工事ですそれを示す碑が看板の場所へ移転されています。今は、ススキとセイタカアワダチソウが生い茂り、当時に思いをはせるしかありません。しかし、この外来種のセイタカアワダチソウ、ススキも駆逐するような勢いで恐ろしい。河川敷の雑木を伐採して、氾濫のリスクを低くしていただけるのはとてもありがたいのですが、その跡地の植生も適正となるような配慮を期待します。



三上橋周辺は、カワウとシラサギが群れていました。最近、シラサギの数が増えてきたように思います。シラサギは清流を好まないと聞くし、あまり増えすぎると、農業への被害や住宅への糞害がでるのでちょっと心配です。

右の写真の釣り人は、竿先を川の中央から入れ、川岸まで回して竿を上げていました。銀色のキラキラした魚を何匹も釣り上げていました。鮎、なのでしょう。川底を錘のついた針を引きづる、ひっかけ釣りと思われます。このエリアは、鮎の産卵場所にもなっていて、昔からごろ引き漁が盛んにおこなわれ、一晩に百匹や二百匹は軽く釣れていました。今は、夜釣りはだめだし、ひっかけ釣り禁止エリアもあり、大漁は難しくなりました。